

原水爆禁止2023世界大会・長崎

自交総連東京地連 代表団参加報告書

われら 生命もて
ここに記す
原爆許すまじ



2023 WORLD CONFERENCE AGAINST A&H BOMBS

原水爆禁止2023世界大会(長崎)に参加して 感想文集

東部ブロック

日の丸自動車交通労働組合
安部直子



皆さんにとって「平和」とは何ですか。争いがないこと。差別をせず、違いを認め合おうこと。悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること…。

8月6日に開催された、広島平和記念式典の「平和への誓い」を胸に秘め、昨年引き続き、8月7日から行われた長崎県での「原水爆世界大会」に参加してきました。台風の動きを考慮して、今回は内容を一部変更しての開催と

なりました。

長崎市長は「次世代を担う私たちがバトンを引き継ぎ未来に“被爆者の声、を世界へ届け平和を訴え続ける必要がある」と述べられました。土田弥生氏(原水爆禁止日本協議会事務局次長)は、自分の実体験を赤裸々に話していただきその後「原爆は一瞬で長崎の街を消し去りました。原爆は人間らしく生きることも許されない。“核兵器、は廃絶しか許されません」と訴えかけました。

2日目の分科会の前に長崎市に建立する山王神社の二ノ鳥居を見学。この鳥居は、原爆投下により爆心側の左半分が飛ばされたものの奇跡的に一本柱の状態で見られました。今も“平和、とは何かを訴えかけている様なそんな趣きさえ感じられました。

私が参加した分科会では日本の被爆者および被爆者の方の心に寄り添って活動してきた方、長崎で被ばくした海外の代表者がスピーチをおこないました。佐久間邦彦氏(広島県原爆被害者協議会理事長)が当時のことをこう語りました。「その当時被ばく者に対してのひどい差別と偏見がありました。若かりし頃にお付き合いをしていた彼女の親に会う機会がありました。その親御さんが「広島の人!?なんで!?!」と声を潜めて言っていたのを聞いてしまいまして、それをきっかけにその彼女とは別れ広島に戻ってきました。帰ってくると私よりも困っている人がいました。その人達のために活動しようと決意した」と述べられました。

それぞれのスピーカーが言い方は違えど、被ばく者に対する沢山の差別と偏見があること、被ばく者に対しての制度の不十分さ…。核兵器はなくさないといけない。侵攻はあってはいけない。「核兵器をなくさないといけないという行動は“政府、が先陣を切って活動していかないといけない。出来ることから行動を起こそう」と、口々に述べられました。

原爆資料館の見学をすることができました。遺品の数々が展示されており「原子爆弾は悲劇しか生まない、あなたたちの手で核兵器を無くして!!」と訴えかけられているような気がしました。

今回も駆け足ではありましたが参加出来て良かったです。まずは、小さな歩幅でもい
いから“核兵器廃絶”と個々が行動を起こしそれを継続していくことが必要不可欠だと
痛感いたしました。“千里の道も一歩から”で今後の活動に生かしていきます。

皆様のおかげで、今回も参加することが出来ました。ありがとうございます。
さいごに… あなたにとって“平和”とは何ですか？



太陽自動車労働組合
今泉 清治

まず最初に今回送り出してくれた仲間の皆様に感謝申し
上げます。

核兵器は悪魔の兵器であり、絶対悪であり、非人道的な
ものであり二度と使用させてはなりません。たった1発の
原爆のエネルギーは爆風、熱線、放射線となり大勢の命を
一瞬にして奪ってしまいました。核兵器禁止条約に日本が

加われば国際社会の期待に応え高い信頼を得ることになります。核兵器廃絶への流れに
勢いを与え、核保有国に対する大きな政治的圧力となります。そして日本の安全、国民
一人一人の安全にとっても重要な意義をもちます。そして核抑止力で対峙する悪循環を
たちきり核破局の危険をとりのぞくことができます。北朝鮮・中国・ロシアに対して核
抑止政策の放棄を迫るなど憲法9条を持つ被爆国にふさわしい外交をすすめることで北
東アジアの非核平和確立の大きな貢献となります。核兵器禁止条約への参加を求める声
は国民の7割を超えています。禁止条約に背を向ける日本政府の態度を変えさせましょ
う。2021年の7月から全国各地の高校生が共同して被爆国日本の政府がなぜ禁止条約に
参加しないのかその姿勢を変えようと高校生署名をスタートしました。1年間で目標に
掲げた1万筆を大きく上回る13,642筆を集めて翌年の8月に外務省に署名を届けました。
この活動はドキュメンタリー映画化され全国で上映されDVD化もされています。

西部ブロック



不二交通乗務員労働組合
福永 民人

今回、初めて原水協大会に参加させて頂き、多くのことに
感動、感銘を受けました。

特にロシアのウクライナ侵攻でロシア側が核兵器の使用に
言及したことに多くの方が危機感を持って行動されておられ
ることに大いに刺激になりました。

2日目の分課会では環境破壊、温暖化で北極圏の永久凍土がかなり溶けていて、封じ込められていた太古のウイルスが復活し世界中に感染拡大する可能性があるとのことに大変、ショックを受けました。

加えて短時間ではありますが、平和公園、原爆平和資料館に行くことが出来ました。あらためて核兵器の恐ろしさと国際政治の中でどういう流れにあるのかを、認識しました。

地連の各労組の方々には代表として送り頂き御礼申し上げます。日々の組合活動の中にこの経験をどのように活かせるかを考え中です。



グリーンキャブ労働組合
鳴海 靖也

沖縄で戦争の傷跡に初めて触れました。それから二十数年後、被爆地の長崎を訪れて改めて戦争の悲惨さを目の当たりにしました。原水爆禁止2023年世界大会長崎が台風の影響で3日間から2日間に短縮されてハードスケジュールのなかで大変貴重な体験をさせていただきました。

唯一の被爆国でありながら核兵器禁止条約に参加しない日本の政治は、政治のトップは何しているのだろうか？と強く思いました。

首相が長崎に来なかったのは「県民が来るな」と言ったからだという声が多く聞かれ、政治家達は本当に日本の何を考えてくれているのだろうか？日本のために何をしてくれているのだろうか？という思いでいっぱいです。昨今、タクシー業界のトップも何を考えているのだろうかと思う事が多々あります。これからはもっともっと政治家やタクシー業界のトップに物申して参りたいと思います。



グリーンキャブ労働組合
福村 光敏

「慰霊」と「未来への希望」を探りに、「原水爆禁止世界大会2023年・長崎」に参加しました。台風6号が迫り、日程が短縮される中、私は2つのお墓をお参りすることができました。グラバー家のお墓と永井隆医学博士家のお墓です。グラバーさんは大河ドラマ「龍馬伝」にも登場する、日本の近代化に貢献した商人である反面武器商人とも言える人物です。

永井博士は朝ドラ「エール」にも登場した、歌謡曲「長崎の鐘」のモデルです。原爆によって絶望的に破壊された長崎の街で、グラバーさんの息子は自殺しました。一方、永井博士は被爆者の治療に励みながら病に倒れ死んでいきました。

墓前で「慰霊」をしながら、対照的な2人の死にざまに思いを巡らすと、「私ならどの

ように生き抜くことができたのだろうか」、とつくづく考えさせられました。絶望を感じた時にこそ、辛い時にこそ、負けた時にこそ、どのような行動が取れるのか「人間の価値が問われる」と言われます。高校野球の仙台育英高校の須江監督の言う、「人生は敗者復活戦」ではないでしょうか。

さて、私の担当した第3分科会では、「核兵器禁止条約への日本の参加をめざす運動」をテーマに議論されました。2023年現在、国連に加盟しているのは193カ国で、「核兵器禁止条約」に署名している国と地域は92カ国・地域、批准している国と地域は68カ国・地域です。日本は「核兵器禁止条約」に署名も批准もしていません。世界で唯一の戦争被爆国である日本の動向を、世界各国・地域は見ています。今こそ日本は、核を「抑止力」とする考え方を捨て、人類のために「未来の希望」となるように、「私たちが行動しなければならない」と考えます。

私たちが「核兵器禁止条約」への参加を求め、署名活動、平和行進などの行動を進展させなければなりません。この世から核兵器、武器が無くなって、永井博士の短歌「親しき朝の光の さしそむる 荒野にひびけ 長崎の鐘」のように、世界中に「平和の鐘」が鳴り響く日まで、私は核兵器廃絶と平和の実現に努力を惜しまないことを誓います。

北部ブロック

大和自動車王子労働組合 東 薫風



台風の予想進路が変わり、九州方面にむかうようだと知ったのは出発の数日前。果たして辿り着けるのか、帰って来られるのかと不安の中で当日を迎えました。幸い初日はほとんど影響がなく、行程通りに長崎に到着し、開会総会に参加しました。

2日目は複数の会場に分かれ、それぞれのテーマについて1日かけて話し合う分科会が行なわれる予定でしたが、台風接近により最終日の閉会総会が2日目に前倒しされ、分科会は午前だけの開催となってしまいました。私が参加した分科会では、唯一の被爆国でありながら核兵器禁止条約に参加していない日本の現状について、様々な意見が出されました。

午後からの閉会総会では、前日の開会総会と同様に多く各国政府機関・平和運動団体の代表が登壇され、考えていたより遙かに大きな規模での大会であることを実感しました。また、被爆者あいさつでは、体験された方にしか語れない貴重なお話を拝聴しました。

総会終了後に訪れた平和公園では平和祈念像の大きさに圧倒され、原爆資料館では原爆の悲惨、さだけでなく復興を果たした人々の力強さを感じました。

最終日の3日目は移動のみに費やし、飛行機の時間を早めてなんとか台風から逃げ切り帰京することができました。

インターネットや子供の頃に読んだ漫画などによって、原爆についてなんとなくわかっていたつもりでしたが、現地を訪れなければわからないような体験がこの3日間で沢山できました。貴重な機会を与えていただきありがとうございました。

地連青年部

グリーンキャブ労働組合
清水 義一郎



今大会は当初、初日『開会総会』・2日目『各・分科会』・3日目『閉会総会』の3日間の予定でしたが、台風6号接近のため、2日間だけの短縮開催になりました。

長崎市民がぎりぎりの窮乏(きゅうぼう)生活を強いられている最中(さなか)の1945年8月9日11時2分頃、浦上天主堂近くの上空でプルトニウム型原子爆弾『ファットマン』が炸裂し、罪のない人々が亡くなりその家族を失い、家屋が焼けました。当時の長崎市の人口24万人のうち約7万4千人が死亡、約7万5千人が負傷、建物はほぼすべてが損傷しその三分の一強は全焼または全半壊したそうです。

その影響は被爆した当時だけでなく、生存された被爆者の方々を今も原爆後遺症で苦しめています。しかし、現在、被爆者の平均年齢は85歳になり、体験談を語られる方が少なくなりました。このあやまちを繰り返さないように、これからは私たちが「核兵器は悪魔の兵器であり、全面禁止を心の底から伝えていかななくてはならない、二度と使用、開発、保持してはならない」と若い世代に語られるよういかなければならないと思います。

初日『開会総会』と2日目『分科会』の会場では、若い方々が熱心に講演を聞きメモをとっている姿にたいへん感心いたしました。2日目に参加させていただいた分科会『平和の危機と気候危機』では、プラスチックは自然環境に深刻な悪影響を与え、製造もリサイクルでも二酸化炭素を出すので温暖化・気候変動の原因になることを知りました。

訪問した原爆資料館では、展示されている写真を見て、ただでさえ戦時中の窮乏生活でしたのに、さらに原爆により地獄の苦しみを受けられた被爆者の方々を思いますと、心がつらく苦しくなりました。

現在、日本は5年間で43兆円もの軍事費に回しております。軍事費に使われるお金は、爆弾やミサイルに変わり消えてしまいます。みんなの税金は、教育費や社会保障制度等、将来を支える子供たちが安心して生活できる社会づくりこそしてほしいと思いました。

戦争を無くし核兵器廃絶のため、今後は世界大会で学習したことを平和活動に継続して取り組み、原爆の恐ろしさを将来伝えていくために、知識を増やして自分たちで考えて行動し、できる事を考え、実践していきたいと思います。

このたびは『原水爆禁止2023年世界大会 長崎』に参加させていただきありがとうございました。

事務局

東京地連執行委員
月村 隆浩



今年の原水爆禁止世界大会は、次の2つの点から例年にも増して重要な意義があると思う。第1点目は長引くロシアのウクライナ侵攻の中で、プーチン大統領は公然と核兵器の使用をちらつかせ、第三次世界大戦に発展しかねない事態になっている。

第2点目は5月に広島で開かれたサミットで「核抑止」による平和維持の方向性が示されたことである。この長年の運動のなかで、核兵器の廃絶を目標とした世界平和を願う多数

の人々の声に反する状況が生れているのである。

2日間の総会と分科会に参加して思ったことは、世界中に核兵器の禁止、核兵器のない世界の実現を望むたくさんの人々の存在だ。日本のように被爆者を持つわけではないのに核保有国や核依存国でも非核化の運動を行っている。

今回参加している15カ国の団体政府・国際機関・個人・NGO代表の報告からその思いが伝わった。

最後に鈴木史朗長崎市長のメッセージを紹介して終りにしたい。核兵器の脅威から地球と人類を守る唯一の方法は「核兵器廃絶」しかありません。そして、その実現のためには、私たち一人ひとりがこれまで以上に力を合わせて、核兵器廃絶の声を大きくしていくことが重要です。だからこそ、多くの方が核兵器廃絶への思いを共有し、連帯を強め、声を上げましょう。

追記：今回の長崎訪問に於いて、その市内移動には路面電車が活用された。都市交通対策委員としてこの「乗り物」はとても便利でエコで優しいことに感動させられた。まず、東京の駅のようにホームまで階段を昇り降りする手間がいない。道路の真ん中にある停留所へは、交差点からすぐに渡れてしかもホームの高さが低い。便数も多く道路渋滞もなくCO2も排出しない。かつて東京にもたくさんの都電が走っていたが、モータリゼーションの発達、車のじゃまだという理由で廃止された。宇都宮では先日路面電車が国内では75年ぶりに復活したそう。大会参加で別の意味から良い体験となった。